

(記載例)
農地転用届出書

〇〇年 〇月〇日

大津市農業委員会会長

大津市農業委員会	
受付	
年 月 日	
整理番号	

届出者 大津 太郎

下記により農地を耕作以外の目的に供したいので、農地法施行規則第29条第1項第1号の規定によって届け出ます

1 届出者の住所及び職業

住 所	職 業
大津市御陵町3番1号	会社員

2 土地の所在・地番・地目及び面積並びに所有者及び耕作者の氏名

	土地の所在・地番			地 目		面積 m ²	土地所有者氏名	耕作者氏名	
	大字(町)	字	地番	登記簿	現況				
大津市	△町〇丁目	川中	700番	畑	畑	400 140	のうち	大津 太郎	大津 太郎
	以下余白								
	合 計			田		m ²	畑 400のうち140 m ²	計 400のうち140 m ²	

3 転用の目的(用途)

農業用倉庫

上記のとおり相違ないことを証明します。

〇〇年 〇月〇日

大津市農業委員

農地 三郎

※農地の所在地の農業委員の署名・確認の後、農業委員会事務局に提出してください

上記の届出のあったことを証明します。

年 月 日

大津市農業委員会 会長

印

(様式: 施行規則29-1-1続紙)

4 転用計画

(1) 転用の時期	転用の工事着工年月日	建築物の工事着工年月日	工事完了年月日
	〇〇年 〇月〇〇日	〇〇年 〇月〇〇日	〇〇年 〇月〇〇日

(2) 転用の目的に 係る事業又は 施設の概要	事業または施設の種類 農業用倉庫(鉄骨平屋建て)	数量 1棟	事業又は施設の面積 m ² 90 m²
-------------------------------	------------------------------------	-----------------	---

5 転用することによって生ずる付近の農地、作物等への被害防除施設の概要

別紙の参考様式C「周辺農地における営農への被害防除に関する説明書」に詳細に記載してください。

6 その他参考となるべき事項(事業又は施設に係る取水及び排水施設等の概要)

雨水は、既存水路から前面道路側溝へ排水する。
給水施設は設置しない。

○ 届出上の注意

- 1 農業委員会用の1部を提出してください。
- 2 所定の欄内に記載しきれないときは、別紙を用いてください。

○ 添付書類

- (1) 届出土地の全部事項証明書(3か月以内の原本)
- (2) 届出土地の位置図(S=1:2500程度)
- (3) 転用事由の詳細説明書
- (4) 土地利用計画図(施設の配置、土地の形状、出入り口、雨水排水の経路、隣接土地の地番、地目、所有者、耕作者などを具体的に記載したもの)
- (5) 建物平面図
- (6) 隣地関係図
- (7) 周辺農地における営農への被害防除に関する説明書(届出地から2m以内)に他人の農地がある場合は、下
「周辺農地(2m以内)の所有者・耕作者および農業関係者との事業計画や被害防除についての説明状況も、記載してください。

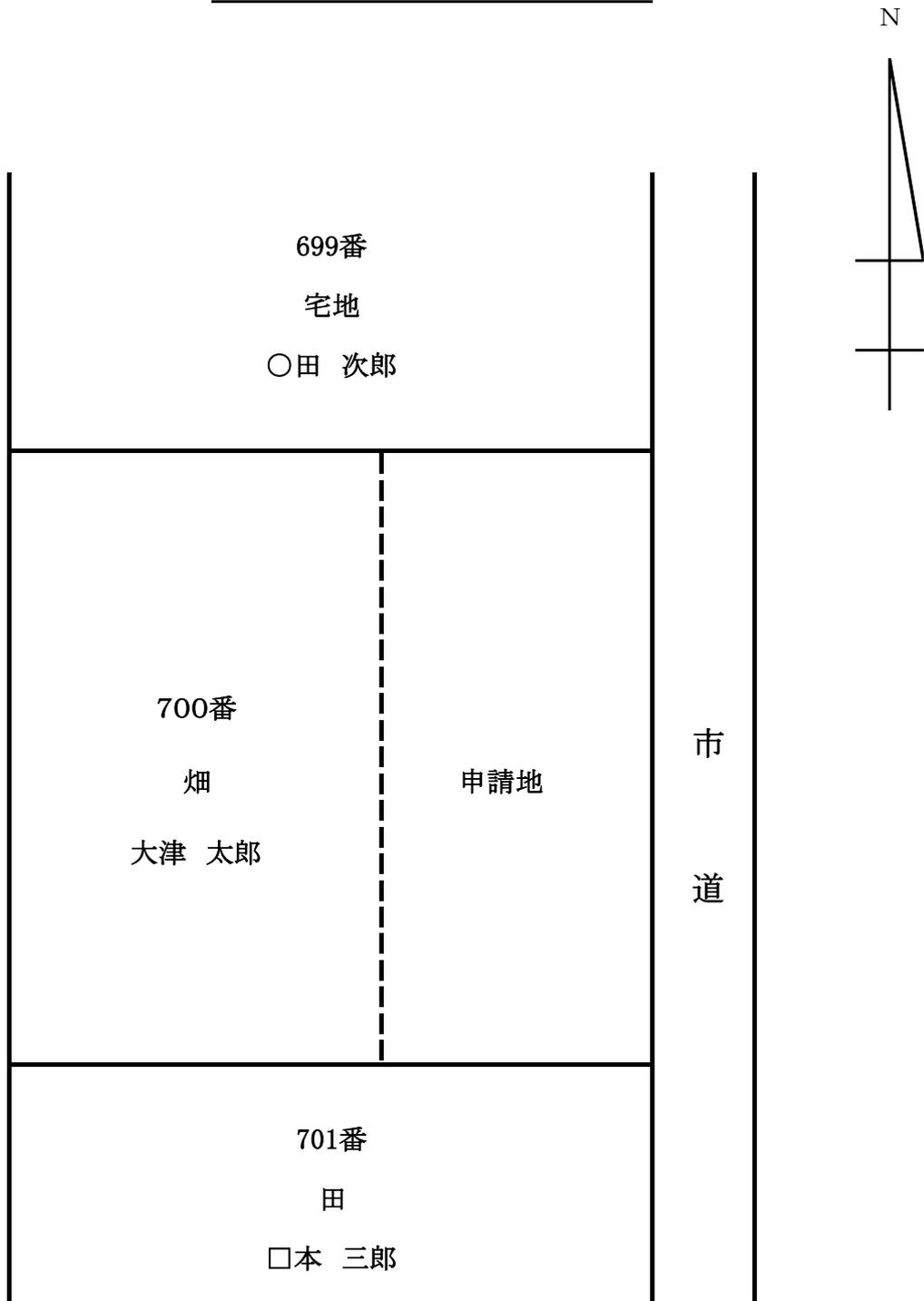
※本届出書は、耕作の事業を行う者が、その農地をその者の耕作の事業に供する他の農地の保全もしくは利用の増進のため又はその農地(2アール未満のものに限る。)をその者の農作物の育成もしくは養畜の事業のための農業用施設に供する場合に提出するものです。

(参考様式B)

転用事由の詳細説明書

<p>申請当事者が 当該施設を 必要とする理由</p>	<p>例①:現在、農機具については、自宅に隣接する農業用倉庫に保管をしているが、住宅が隣接しているため、近隣からの騒音等の苦情もあり、また、自己の農地への移動に不便でもあることから、今回、住宅地域から外れており、より農地に近い場所に、新たに農業用倉庫を建築する。</p> <p>例②:現在の農業用倉庫が老朽化しており、また、手狭にもなってきたことから、今回、新たに農業用倉庫を建築する。</p>
<p>用地の 選定理由</p>	<p>例①:住宅地域からはずれており、また、自己所有農地が近くに点在し、農作業をしていくうえで、便利であるため。</p> <p>例②:自己所有農地が近くに点在し、農作業をしていくうえで、便利であるため。</p>
<p>施設の 利用計画</p>	<p>自己用の農業用倉庫 格納する農機具:トラクター、田植え機、コンバイン、乾燥機</p>
<p>現有施設が ある場合、 その状況</p>	<p>例①:物置として、利用する。</p> <p>例②:既存の農業用倉庫は撤去する。</p>
<p>その他参考と なるべき事項</p>	

隣地関係図



(注)隣地関係図には、申請地を中心に隣接する土地の地番・地目所有者(耕作者)を明記してください。

周辺農地における営農への被害防除に関する説明書

項目	転用事業計画における措置状況 (対策の必要性の有無とその理由、施設の設置計画等対応状況を具体的に記述)
周辺の状況	北側：宅地、東側：市道、南側：農地、西側：自己所有農地
■土砂の流出または崩壊のおそれはないか	隣接地との境界部分に、コンクリート擁壁(L型)を設置し、盛り土の崩壊により隣接農地に土砂が流出しないようにする。
■ガス、粉じんまたは鉱煙の発生、湧水、捨石等により周辺農地の営農条件に支障を生ずるおそれはないか	造成工事により出た石は、他所へ運ぶため、隣接農地へは入れない。建物工事中は、防じんネットを設置する。
■農業用の用排水施設の有する機能に支障を及ぼすおそれはないか	取水は、西側の市道より上水道に接続。污水排水は、浄化槽で処理する。雨水は、敷地内に集水枡を設け、西側の道路側溝へ放流するため、農業用の用排水施設に影響は及ぼさない。また、〇〇を流れる水路については、現況のままにしておく。
■周辺の農地における日照、通風等に重大な支障を及ぼすおそれはないか	東側の隣接農地から建物を〇〇m離して建てるため、隣接農地の日照・通風に重大な影響は及ぼさないことを、東側農地所有者と協議済みである。
■汚れた排水が流れて下流に影響を及ぼさないか(工事中も含む)	污水排水は、浄化槽で処理する。雨水は、敷地内に集水枡を設け、西側の道路側溝へ放流するため、下流域に影響は及ぼさない。また、工事中も同様に汚れた水は流さないため、下流域に影響はでない。
■農道、ため池その他の農地の保全または利用上必要な施設の有する機能に支障を及ぼすおそれはないか	〇〇にある農道については、工事中も工事完了後も、通行しない。
■周辺農地(2m以内)の所有者・耕作者および農業関係者との事業計画や被害防除についての説明状況	<p>【説明内容】 いつ、だれが、だれにどのように説明したか (説明日、土地の地番、相手方住所・氏名、説明者名、説明内容を記載してください。)</p> <p>①令和〇年〇月〇日に、南側農地(701番)所有者の口本三郎氏(住所：〇〇)に対し、届出人の大津太郎が、転用事業概要と、上記のとおり被害防除策を取ることを説明した。 ②令和〇年〇月〇日、…。</p> <p>【隣接者等からの意見】</p> <p>①について、境界のぎりぎりに建物を建てられると、作物に日が当たらないため、できるだけ、境界から離して建ててもらいたいと要望を受けた。 ②について、…。</p> <p>【隣接者等からの意見に対する被害防除策】</p> <p>①について、東側の隣接農地から建物を〇〇m離して建てることにすることを口本三郎氏に説明し、納得された。 ②について、…。</p>